

「子どもの薬を創る会」第9回セミナー

日本薬理学会後援セミナー

CAR-T 細胞のアカデミア創薬

信州大学小児医学教室 教授 中沢 洋三 先生

日時：2024年3月11日（月）18:00 – 19:00

形式：オンラインセミナー

参加費：無料

参加方法：下記 URL または QR コードから 12月25日（月）までに事前参加登録をお願いします。

URL: <https://us02web.zoom.us/join/register/tZ0kcuispkiHtGTgHgdz3LONuuXzeRTlcXY>

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

問い合わせ先：信州大学医学部分子薬理学教室 山田充彦

(pediatpharm@gmail.com)



近年、“再生医療等製品”の薬事承認が相次ぎ、“再生医療等製品”を用いた細胞医療・遺伝子治療はこれまで治療薬のなかった難治性疾患の医療にブレークスルーをもたらしています。“再生医療等製品”とは、薬機法上“医薬品”とは別に分類されている疾病の治療を目的とした製品で、細胞に培養等の加工を施した“ヒト細胞加工製品”と、ウイルスベクター等により特定の遺伝子を体内で発現させることを目的とした“遺伝子治療用製品”が含まれます。小児科領域でも、急性リンパ芽球性白血病を適応症とした抗 CD19 キメラ抗原受容体 (CAR) 遺伝子改変 T 細胞「キムリア®」と、脊髄性筋萎縮症を対象とした SMN1 遺伝子搭載アデノ随伴ウイルス (AAV) 9 ベクター「ゾ

ルゲンスマ®」が承認され、これら疾患を有する患者の生命予後や神経学的予後の劇的な向上が期待されています。

私は患者さんとの出会いをきっかけに米国に研究留学し、黎明期の細胞医療・遺伝子治療を学び、これまで17年間にわたり、小児科医のまま、CAR-T細胞療法の実用化を目指してきました。基礎研究で創出したシーズを知財化し、応用研究に発展させ、実用化の可能性があるかと判断した場合は外部資金を獲得し、非臨床試験、first-in-human 医師主導治験までを信州大学ワンストップで行っています。実用化には製薬企業に橋渡しするベンチャー企業が必要と思い知らされた3年前には、小児科医の仲間と共にスタートアップ「株式会社 A-SEEDS」を起業しました。

本セミナーでは、CAR-T細胞療法の研究開発をテーマに、小児科医が挑戦するアカデミア創薬についてご紹介させていただきます。

